

令和 7 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立言問小学校
校長名	中嶋 保徳

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
・第 2 ～第 4 学年までは、全ての教科・観点において全国平均及び目標値を上回っている。また第 4 学年においては全ての観点で全国平均を 3 ポイント以上上回っている。 ・どの学年も経年で見ると中学年までは全国平均を上回っている。 ・算数についてはどの学年も全国平均水準である。昨年度からの算数の研究成果である。	・学年の進行に伴う学力の低下傾向解消に向けた中学年までの基礎的な学力の定着を図る。 ・全学年で平均すると 33%になる D E 層を減らし、二極化している下層を中層に高める指導方法の工夫を実践する。 ・社会科における D E 層 (43%) の学力の向上に向けた振り返りの充実、反復学習による基礎的な知識・技能の確実な定着。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
・「学級の絆」の標準スコアが全国平均を以上のクラスがあり、多くの学年で対人ストレス値が良好である。各拠点校でありサポートの教員による見守りの成果とも考えられる。 ・第六学年における社会参画意識が全国平均を大きく上回っている。異年齢集団による活動や地域の活動への参加度の高さが影響している。	・高学年の学力の低さと学習意欲・学習習慣の低さの相関が見られる。学習意欲を高め、学習習慣を高める手立てを講じる必要がある。 ・相対的に「他者からの評価」が低い。学校生活や各種行事などでの振り返りに他者評価を生かし、児童自身が自己の努力や成長を認識できるようにすることで自己肯定感をたかめる。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・校内研で取り組んでいる算数科の研究により、算数の児童の算数への取組意欲や自分の考えの記述や発言の機会が増えている。 ・朝学習や家庭学習の継続的な取り組みにより、学習に取り組む姿勢や意欲の向上が見られ、基礎的な学力の定着の基盤づくりができています。	・社会や理科における基礎的な知識の定着とその内容を生かした活用的な問題への取組。 ・児童が自身の学習への見通しをもち、目標をもって学習に取り組めるような学習方略の検討。 ・D E 層に対応した学習形態・指導方法の工夫による二極化の解消。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 振り返りを活用した学習活動の展開

① 学習の見通しと振り返りを重視した学習展開

児童が学習の目的や内容についての見通しもてるようにすることで、学習への主体性を高め、学習のめあてを意識して学習に取り組めるようにする。また、授業後に「何が分かったか」「何

が身に付いたか」「何が分からなかったか」などの観点で、授業や単元の振り返りを行い、児童自身が自分の課題を分析し、自分に必要な学習を見つけられるようにすると共に、主体的に学習に取り組めるようにする。

② 振り返りを生かした日常的な反復学習による基礎的な学習内容の定着

社会科の地図記号やアルファベットの書き、理科のメダカのオスメスなどの基礎的な学習の知識やグラフの読み取り、単位計算などの基礎的な技能の内容を、授業での学習後に期間を開けて再学習することで、知識・技能の確実な定着を図る。

(2) 各層に応じた指導方法の工夫

① 自己肯定感を高めることを重点に置いた学習展開・指導法の工夫

基礎的・基本的な学習内容の定着を目指し、ミライシードなどのICTを活用した個別最適な教材により「できた、わかった」感を高める。また、問題数を調整したプリントなどを用いて教師が直接採点し言葉や表情で賞賛や励ましを行うことにより児童の自己肯定感の向上を図る。さらに「できた、わかった」ことを活用した学習展開を充実させることで、発展的な学習や深い思考に支えられた学びを実現する。

② 自分の考えや思いを根拠を明らかにして説明（記述）する力の向上

日常的に自分の考えや思いを短い文章で書く活動を通して、相手意識や目的意識をもった文章を書く力を身に付ける。また、複数の資料や意見を比較したり統合したりして自分の考えを構築し、説明（記述）する学習展開を工夫することで、自分の考えを根拠を明確にして記述する力を高める。

(3) 学習規律の確立と教室環境の整備

① 学習内容の定着や学力の向上のためには、学習規律の確立や学習環境を整えることが基本である。学習規律チェックリストを使ってすべての学級において児童が安心して学習に取り組むことができるようにする。

〈学習規律チェックリスト〉

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・ 学習の準備をしてチャイム着席 | ・ 気持ちのよいあいさつ、返事 |
| ・ 丁寧な言葉で話す | ・ 人の話を最後まで聞く |
| ・ 良い姿勢 | ・ 机の上の整理整頓 |

〈授業前や放課後にチェック〉

- ・ 床にごみや物は落ちていないか。
- ・ 机は整頓されているか。
- ・ 掲示物はきれいに整えられているか。
- ・ 黒板及び黒板周辺はきれいに整えられているか。

3 「令和8年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・ 高学年になっても学力水準が全国平均を維持できるようにする。
- ・ すべての学年・教科におけるDEの割合を30%以下にする。
- ・ 学習意欲を高める。自己肯定感を高める。